

期間：2020年4月～2021年3月

# 1. 論文掲載

## 1. 原著論文

No	テーマ	発表誌名	発表者	備考
1	Effect of Mucosal Brushing on the Serum Levels of C-Reactive Protein for Patients Hospitalized with Acute Symptoms.	Medicina 2020, 56, 549	Naoko Nakahodo, Yoshiaki Nomura, Takumi Oshiro, Ryoko Otsuka, Erika Kakuta, Ayako Okada, Yuko Inai, <u>Noriko Takei</u> , Nobuhiro Hanada	共同
2	Comparison of oral microbiome profiles in 18-month-old infants and their parents	Sci Rep.2021 Jan 13;11(1):861.	Ryutaro Jo, Kazuma Yama, Yuto Aita, Kota Tsutsumi, Chikako Ishihara, Masato Maruyama, <u>Kaori Takeda</u> , Eiji Nishinaga, Ken-Ichiro Shibasaki, <u>Seiji Morishima</u>	共同
3	小児の口腔機能に関する実態調査 ー口呼吸の早期発見に繋がる新たな5つの徴候ー	小児歯科学雑誌 58(3):132-141,2020	<u>貨泉朋香</u> 、船山ひろみ、 <u>野原佳織</u> 、 <u>黒川亜紀子</u> 、 <u>小林利彰</u> 、朝田芳信	筆頭 共同
4	環境因子が唾液分泌量に及ぼす影響 ー照度、香り、足浴についての検討ー	日本生理人類学会誌26(1):1-7,2021	<u>野原佳織</u> 、張琰雯、 <u>貨泉朋香</u> 、 <u>黒川亜紀子</u> 、 <u>小林利彰</u> 、夏亜麗、下村義弘	筆頭 共同

## 2. 研究報告

No	テーマ	発表誌名	発表者	備考
1	某健康保険組合のビッグデータを活用した口腔内状態と医療費、健康状態、健康行動との関連性に関する長期的な疫学研究（2002年～2014年） （令和元年度8020研究事業公募課題概要報告）	会誌「8020」No.20. 2021-3. 147-148,2021	<u>市橋透</u> 、 <u>後藤理絵</u> 、春山康夫、武藤孝司、小橋元	筆頭 共同

筆頭:財団所員が筆頭発表者、 共同:外部機関との共同研究、アンダーライン:財団所員

## 2. 学会発表

期間：2020年4月～2021年3月

No	月	テーマ	発表学会名	発表者	備考
1	6	唾液分泌を促進する生活環境の提案	第61回日本人間工学会	野原佳織、張琰雯、 <u>貨泉朋香</u> 、 <u>黒川亜紀子</u> 、 <u>小林利彰</u> 、夏亜麗、下村義弘	筆頭 共同
2	10	香りが唾液分泌量に及ぼす影響	第81回日本生理人類学会	野原佳織、張琰雯、夏亜麗、 <u>貨泉朋香</u> 、 <u>黒川亜紀子</u> 、 <u>小林利彰</u> 、下村義弘	筆頭 共同
3	11	超高齢社会における口腔機能低下症の予防法の確立 ー口腔乾燥の新たな治療方法の確立に向けた5症例の検討ー	第31回日本老年歯科医学会	野原佳織、 <u>貨泉朋香</u> 、 <u>黒川亜紀子</u> 、 <u>小林利彰</u> 、片田治子、根來大幹、駒ヶ嶺友梨子、金澤学、水口俊介	筆頭 共同
4	5	歯みがきナビゲーションを特長とする新子供用IoT 歯ブラシの清掃力に関する研究	第58回日本小児歯科学会	佐竹茉以、金丸直史、 <u>貨泉朋香</u> 、 <u>小林利彰</u> 、安達詩季、唐木隆史、青山友紀、永岡春香、日野亜由美、茂呂歩実、岡部早苗、熊谷千明、中村由美子、山口桃枝、船山ひろみ、朝田芳信	共同

筆頭:財団所員が筆頭発表者、 共同:外部機関との共同研究、アンダーライン:財団所員